

中企団特別講座のご案内



中小企業福祉事業団



燦ホールディングス株式会社
SAW HOLDINGS

人生を最期まで、“自分らしく生きるための”

終活設計「エンディングワーク」

現在“人生の終わりに向けての準備活動”すなわち「終活」が空前のブームです。そして、この終活ブームはシニアマーケットを巻き込み、医療・介護・成年後見・相続・葬儀・お墓に関わる「終活ビジネス」の様相を呈しています。しかし、世に出回っている「終活マニュアル」の多くは、小手先のテクニック論に終始して、本質的「終活」の思想や文化的構造を伝えていないように思われます。

他方、社会保険労務士は、社労士法に定められている「労働及び社会保険に関する法令の円滑な実施に寄与」することにより、人が生まれてから死ぬまで携わる、人生を通した福祉に関する専門家と言えます。そこで、専門家として、本質を踏まえた「終活」を提示することは、携わる方々により豊かな幸福を与えることになるでしょう。

終活設計「エンディングワーク」とは、人生の終わりを見据え専門家などの支援を得て、将来立ちはだかる介護・葬儀・相続などの諸問題に対処し、その過程を通して、家族や友人など、大切な人たちとの絆を強め、自己を成長させる活動と定義しました。さらに、エンディングノートを人生設計書として位置づけ、《本人と代理人(家族など)そして、専門家の三位一体モデル》を中核に据えて、具体的行動を重視して解説いたします。

エンディングワークの要は、《専門家のコンサルテーション》です。シニア世代に対して、人生のエンディングに係わる“知識”の提供ではなく、具体的な行動につながる“智慧”の提供が求められています。まさに、“エンディングノート”から“エンディングワーク”へと、「終活ブーム」は、大きな転換期を迎えているのです。

本講座は、多岐にわたる分野を包含する「終活」を体系的に理解できるよう、図版を駆使しながらお伝えします。さらに実務面においても顧客に対するプレゼンテーションの場面を想定して解説してまいります。(廣江 輝夫)

| | |
|----|---|
| 内容 | ①エンディングサポートの概念(介護・葬儀・相続、エンディングの三つ課題を考察) |
| | ②エンディングワークと三位一体モデル(本人・代理人・専門家が協働する意義) |
| | ③エンディングノートの構造(心・人・物の棚卸と人生の回顧・ライフレビューの具体的手法) |
| | ④サナトロジー(終末期の全人的苦痛から、尊厳死、グリーフケアまで、死生学から何を学ぶか) |
| | ⑤セレモニーの変遷(家族葬、生前葬、散骨・樹木葬、永代供養墓の出現が意味するもの) |
| 講師 | 燦ホールディングス株式会社 廣江 輝夫 氏(経営企画部 担当課長) 「生前葬」などの商品開発、エンディングサポート事業計画を手掛け、エンディングワークをテーマに行政、大学、金融機関、介護事業者に向けて講演活動を行うと共に、公益社 遺族サポート「ひだまりの会」のスタッフとしてグリーフケアに取り組んでいる。 |

| | | |
|----|--|--|
| 日時 | 9月20日(火) 13:30~15:30 | 【参加特典】 書籍 「退職者の幸福論」贈呈 著者：相原 和幸氏 「幸福を享受するもっとも旬な時期を迎えるのは退職者である」との自説を元に、著者のユニークな視点を交えつつ幸福について論じている。 |
| 場所 | 中小企業福祉事業団 セミナールーム 東京都台東区松が谷1-3-5 JPR上野イーストビル2階 | |
| 定員 | 36名 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。 | |
| 費用 | 参加費：無料 ※レジュメ・資料は、当日会場にてお渡しいたします。 ※本特別講座のDVD販売はございませんので、あしからずご了承ください。 | |

お申込方法 下記「特別講座参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

特別講座参加申込書(9月20日(火)開催分) ⇒ FAX:03-5806-0297

| | | | |
|-----|--------|------|--|
| 氏名 | (幹事番号) | 事務所名 | |
| 所在地 | | | |
| TEL | | FAX | |

※ご記入頂きました個人情報は、中小企業福祉事業団と燦ホールディングス株式会社が、特別講座の運営、管理、及びアフターフォローのために共同で使用しますが、中小企業福祉事業団が責任を持って管理いたします。

【お問い合わせ先】 中小企業福祉事業団 事業部 Tel: 03-5806-0298 Mail: info@chukidan-jp.com